



## 主要な農作物の生育情報

令和元年度 第6号

(令和元年9月6日)

福島県農林水産部農業振興課

### 【作物】

#### 1 水稻

農業総合センターの作柄解析試験では、出穂期が本部（郡山）、浜地域研究所（相馬）で平年より2日から3日遅く、会津地域研究所（会津坂下）で平年並から2日早くなりました（表1）。8月の気温が高く経過していることから、登熟は平年並に進んでいると見込まれます。

表1 水稻主要品種の出穂期（本年値）と成熟期（平年値）

場 所	品 種	移植期 (月日)	出穂期			成熟期の 平年値 (月日)
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	
本 部 (郡山)	ひとめぼれ	5.15	8. 5	8. 2	+ 3	9.20
	天のつぶ	5.15	8. 6	8. 4	+ 2	9.23
	コシヒカリ	5.15	8.13	8.11	+ 2	10. 2
会津地域研究所 (会津坂下)	ひとめぼれ	5.20	7.29	7.31	- 2	9.11
	天のつぶ	5.20	7.31	8. 2	- 2	9.14
	コシヒカリ	5.20	8. 5	8. 5	0	9.18
浜地域研究所 (相馬)	ひとめぼれ	5.10	8. 1	7.30	+ 2	9.14
	天のつぶ	5.10	8. 3	8. 1	+ 2	9.22
	コシヒカリ	5.10	8. 9	8. 7	+ 2	9.28

※ 農業総合センター作柄解析試験。平年は前5カ年の平均値。

#### 2 大豆

農業総合センター作柄解析試験の開花期は本部（郡山）、浜地域研究所（相馬）で平年より1日から5日遅く、会津地域研究所（会津坂下）で平年並から1日早くなりました。

### 【野菜】

#### 1 きゅうり

抑制栽培の定植は、平年並の7月中下旬から8月上旬にかけて行われ、収穫は平年並の8月中旬から始まりました。露地栽培は、収穫の後半を迎えており、草勢は低下傾向となっています。

ほ場により、炭そ病、褐斑病、つる枯病がみられ、害虫はアブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類が発生しています。

#### 2 夏秋トマト

7月下旬から8月上旬の高温の影響により中段での落花がみられましたが、上段では正常に着果しています。

ほ場により、すすかび病、葉かび病がみられ、害虫はアザミウマ類、コナジラミ類、オオタバコガが発生しています。

#### 3 さやいんげん

5月定植の作型は8月上旬に収穫盛期を迎え、現在収穫の終盤を迎えています。7月定植の作型では概ね良好に生育し、現在収穫盛期を迎えています。

#### 4 夏秋ピーマン

7月の着果負担の影響により草勢は低下したまま収穫の後半を迎えています。害虫はアザミウマ類、アブラムシ類が発生しています。

### 【果 樹】（9月2日現在：農業総合センター果樹研究所）

#### 1 もも

「まどか」の収穫盛りは8月11日で平年より3日早まりました。果実の大きさは、444gとかなり大きく、糖度は15.3と平年より高い状況でした。

「川中島白桃」の収穫盛りは8月19日で平年より8日早まりました。果実の大きさは、424gとかなり大きく、糖度は14.2と平年より高い状況でした。また、収穫始めにおいて、果頂部が着色せずに軟化している果実が認められました。

「ゆうぞら」の収穫始めは8月26日で平年より5日早まりました。収穫開始時の果実の大きさは、

457g、糖度は12.8（参考値）でした。

## 2 なし

「幸水」の収穫始めは8月21日で平年より4日、収穫盛りは8月23日で8日早まりました。果実品質は、果実重が403gで平年より大きく、糖度は11.0で平年より低い状況でした。

「豊水」は、暦日比較で縦径が81.4mmで平年比111%、横径が94.0mmで平年比112%と平年より大きく、生育日数による比較でも平年より大きい状況でした。

## 3 りんご

「つがる」の収穫盛りは8月26日で平年より8日早まりました。成熟日数は120日で平年より5日短くなりました。果実品質は、果実重が336g、糖度は12.4、果実硬度は8.7ポンドで、平年と比較して果実重は大きく、糖度は平年並、果実硬度は平年より低い状況でした。

暦日比較では、「ふじ」は縦径が73.6mmで平年比103%、横径が79.9mmで平年比103%と平年並の状況でした。また、生育日数による比較では、平年よりやや大きい状況でした。

## 【花 き】

### 1 キク類

8月咲きの品種は概ね平年並の出荷でした。また、9月咲きの生育は一部の産地で徒長気味ですが、概ね順調に推移しています。10月咲きについても、平年並の生育となっています。

病害虫では、白さび病、ハダニ類やアザミウマ類等の発生が多くみられ、特にオオタバコガの発生が増加しています。

### 2 リンドウ

8月咲きの早中生品種は概ね平年並の出荷でした。また、9月彼岸向けの中晩生品種については、高温による花弁の色抜け症状が平年より多くみられ、一部の産地では徒長しています。

病害虫では、ハダニ類の発生が多くみられ、黒斑病、葉枯病の発生も増えてきています。

## 【飼料作物】

### 1 牧草

2番草は収穫が終わり、3番草の生育期となっています。天候不順により8月中下旬収穫となった2番草は、刈遅れにより栄養収量は低いものの乾物収量は平年並が見込まれます。3番草は、9月中旬から収穫・調製が行われる見込みです。

### 2 飼料用トウモロコシ

早生種は8月中旬から収穫・調製が行われ、現在、中晩生種の収穫期を迎えています。

### 3 W C S用稲

8月下旬より収穫が開始され、これから本格的な収穫期を迎えます。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>